

中施策評価書

作成日 令和元年 11月 20日

中施策事業名	体育補助金事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	気軽に運動ができるように、仲間に囲まれ、指導者にも恵まれている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・選手派遣補助事業（体育協会・レク協会等） ・体育協会（16団体）事務及び調整 ・レクリエーション協会（4団体）事務及び調整 ・スポーツクラブ事務局 ・ふれあい広場設置補助事業（2団体）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
県大会以上への出場者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	25	25	27	27	27	27
	実績値	21	22				
単位	人						
スポーツクラブ登録者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	200	200	200	200	200	200
	実績値	158	151				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		8,346千円	7,001千円		
a	事業費合計	6,592千円	7,001千円	6,981千円	
	正規職員	人数	0.3人	0人	
		b金額	1,754千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		1,754千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		8,346千円	7,001千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		121円	102円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	子どもが減少していく中、スポーツクラブの会員が減り続けてしまうとクラブ存続にも影響を及ぼす。クラブ数の増加、総合型等充実を図る必要がある。補助事業（補助金等）を積極的に活用し、スポーツを楽しみ、親しみが持てるように幅広く周知していく。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各団体の魅力を様々な機会を通して周知していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各助成団体相互の連携強化が必要。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名	内容、理由、時期等
	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 11月 21日

中施策事業名	スポーツ振興事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	誰もが楽しみながら運動に親しみ、健康的な生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・豊明市スポーツ表彰事務 ・市民体育大会総合開会式及び各団体競技の調整 ・スポーツ推進計画審議会(計画進行管理) ・市民歩け歩け運動 ・スポーツ講演会 ・市民レクリエーションスポーツ教室 ・ラジオ体操会		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
スポーツ表彰対象者	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	62	64	66	68	68	68
	実績値	19	17				
単位	人						
市民体育大会参加者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	3,700	3,700	3,750	3,750	3,750	3,750
	実績値	3,324	3,029				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		20,359千円	9,136千円		
人件費	a 事業費合計	8,669千円	9,136千円	11,042千円	
	正規職員	人数	2人	0人	
		b 金額	11,690千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	1人	0人	
		金額	276千円	0千円	
人件費合計		11,966千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		20,359千円	9,136千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		296円	133円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	市民大会の開催、施設の開放、スポーツ教室等の実施により、評価項目は概ね達成している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設開放や各種スポーツ教室について、市民に対して周知不足の点もあると思われるのでより決め細やかな周知を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各事業を再評価しながら誰もが気軽に参加できるよう、足りない部分を補い充実を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 11月 20日

中施策事業名	体育施設維持管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる
④中施策事業の対象	施設利用者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	健康的な生活を送るため、快適な環境で運動に親しんでいる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・用地借地契約 ・体育施設利用調査、調整事務(優先団体使用・グラウンド・テニスコート) ・行政財産目的外使用料算定、許可 ・指定管理(委員会) ・備品台帳の整理

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
福祉体育館及び体育施設等の利用者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	216,800	217,000	217,200	217,400	217,400	217,400
	実績値	226,798	211,119				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)		107,467千円	156,948千円	
a	事業費合計	103,375千円	156,948千円	286,327千円
	正規職員	人数	0.7人	0人
		b金額	4,092千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		4,092千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	30,161千円	0千円
③ コスト(①-②)		107,467千円	126,787千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,562円	1,842円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	指定管理料が大部分を占めておりモニタリングを通して確認し概ね妥当と判断している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	予定されている各種工事については、利用者の立場に立った工事を心掛けている。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者にヒアリングを行い、より効果的な事業計画をたてる。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 7月 25日

中施策事業名	公民館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	それぞれの教養を高めながら活発に交流している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館サークル ・ 公民館まつり ・ 公民館の運営及び運営審議会、公民館連合会 ・ 公民館講座

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
中央・南部公民館 利用件数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	2,650	2,650	2,700	2,700	2,700	2,700
	実績値	2,768	2,661				
単位	件						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		22,463千円	18,279千円		
人件費	a 事業費合計	16,618千円	18,279千円	18,352千円	
	正規職員	人数	1人	0人	
		b 金額	5,845千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,845千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		22,463千円	18,279千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		326円	266円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	目標値を達成しているが、相変わらず従来からの利用団体が多い。利用者の高齢化も進んでいるため、目標値維持のために若い世代の利用の増加を目指し、講座の充実や施設の修繕等を計画的に行っていく必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民課機能のより効率的な運用と、期日前投票の実施による有効な活用を行っていく。また施設の老朽化に伴う修繕等を効率的に行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設運営に関して、常に効率性、利便性を考慮し、多機能を有した公民館を目指していく。また、市民（特に若い世代）が利用し易い雰囲気づくりに努めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 7月 25日

中施策事業名	文化広場管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる
④中施策事業の対象	施設利用者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な人が、健康で文化的素養を相互に高めている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 勅使会館の管理、運営及び支払いに関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
勅使会館の利用人数 (和室)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	4,250	4,250	4,300	4,300	4,300	4,300
	実績値	5,141	4,175				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		7,700千円	5,635千円		
a	事業費合計	5,946千円	5,635千円	5,049千円	
	正規職員	人数	0.3人	0人	
		b金額	1,754千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		1,754千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		7,700千円	5,635千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		112円	82円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	夏休みに子どもを対象とした事業を行うなど、講座等の企画により利用者は計画を達成した。指定管理者制度を導入しているため、モニタリングを通して適正に管理運営していると判断している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	利用予定の少ない時期に講座を開催する等、利用者の増加を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	長期的な展望を基に、安定的な利用者数を確保する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 11月 20日

中施策事業名	青少年対策事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治

①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる
④中施策事業の対象	市内小中学生及び地域の人たち
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、それぞれの地域で、地域の人たちに支えられ、生き生きと暮らしている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・青少年健全育成地区連絡協議会及び家庭教育推進協議会・青少年健全育成推進員・子ども情報誌の発行に関すること・成人式に関すること・家庭教育学級に関すること・民謡講習会及び子どもフェスティバル・文科系ジュニアクラブ(CJC)・放課後子ども教室

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
放課後子ども教室 登録児童数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	260	280	300	320	320	320
	実績値	259	315				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)			38,299千円	35,522千円	
人件費	a 事業費合計		31,869千円	35,522千円	51,552千円
	正規職員	人数	1.1人	0人	
		b 金額	6,430千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		6,430千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	7,532千円	0千円
③ コスト(①-②)			38,299千円	27,990千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			557円	407円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	放課後子ども教室については、市内9小学校のうち3学校が未実施であったが、1小学校が開校されたため、登録児童数が増加した。開校に伴い事業費を増加した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	放課後子ども教室については、既存施設を活用し、未実施校2校のうち1校の開校を目指すため事業費を増額した。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	放課後子ども教室については、既存施設を活用し、未実施校の残り1校を令和3年度に開校する準備をしていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	未実施校であった三崎小学校放課後子ども教室について、学校内の施設を整備し、開校することができた。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	未実施校である大宮小学校放課後子ども教室について、学校内での開校は困難であることから、地区との話し合いを進め、近隣の施設を利用することにより令和元年度の開校を目指している。	

中施策評価書

作成日 令和元年 11月 20日

中施策事業名	社会教育活動事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域活動を活発にする		
④中施策事業の対象	市内小中学生		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、地域の人たちに支えられ、活発に活動している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・人権教育 ・社会教育委員会 ・情報誌の発行HPの運営 ・市P連 ・女性の会補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
文科系ジュニアクラブ数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	7	7	7	7	7	7
	実績値	6	6				
単位	クラブ数						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		8,082千円	4,966千円		
a	事業費合計	5,159千円	4,966千円	5,352千円	
	正規職員	人数	0.5人	0人	
		b金額	2,923千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,923千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		8,082千円	4,966千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		117円	72円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	クラブ数の増加はなかったが、子どもが減少する中、各クラブの維持が図れ、継続的な活動が達成された。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	クラブ員の増加を目指し、積極的な広報活動を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	関連団体との連携を構築し、クラブの更なる活動の場を提供できるよう努めていく。また、既存クラブ員数の増加を目指し、広報、ホームページ等による周知を充実させるとともに、小中学校を通じて、クラブの新規加入も促していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 27日

中施策事業名	文化会館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	文化的素養を育み、文化、芸術を発信している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・指定管理 ・会館の財産等 ・公立文化施設協会(施設損害賠償保険含まず)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用者数(29年度ホール耐震工事、30年度指定管理)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
目標値		58,000	136,500	137,000	137,500	137,500	137,500
実績値		47,935	185,017				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
目標値		0	0	0	0	0	0
実績値		0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		441,417千円	108,327千円		
人件費	a 事業費合計	429,727千円	108,327千円	107,227千円	
	正規職員	人数	2人	0人	
		b 金額	11,690千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	5人	0人	
		金額	4,778千円	0千円	
人件費合計		16,468千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		441,417千円	108,327千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		6,414円	1,574円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	指定管理料が大部分を占めておりモニタリングを通して評価項目を確認し概ね妥当と判断している。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	モニタリングを分析し次年度以降の事業を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	他市町の情報を収集し市民サービスの向上をめざす。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 27日

中施策事業名	文化財保護事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく認識し、愛着をもって継承している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ナガバノイシモチソウ ・大狭間湿地 ・市文化財の保護、保存及び補助金 ・市文化財の保護、保存及び補助金の申請及び交付 ・文化財保護委員会 ・文化財の維持管理 ・埋蔵文化財の調査、実測及び台帳への登録		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
一般公開見学者数 (ナガバノイシモチソウ)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	520	530	540	550	560	570
	実績値	690	596				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		40,458千円	21,584千円		
a	事業費合計	31,690千円	21,584千円	15,053千円	
	正規職員	人数	1.5人	0人	
		b金額	8,768千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	1人	0人	
		金額	212千円	0千円	
人件費合計		8,980千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	2,686千円	0千円	
③ コスト(①-②)		40,458千円	18,898千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		588円	275円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	成果指標は目標値を達成しているが、今後も達成できるよう情報の発信が必要である。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史的文化価値を損なわないように、文化財の保全に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	子育て関係の施設を中心に複合施設に移設することを視野に、文化財に興味を持てるよう情報の提供媒体を見直す。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 11月 20日

中施策事業名	市史編さん事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく理解している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市史の編さん及び編さん委員会 ・市史新規資料の受け入れ ・広報「とよあけの自然」、「市史だより」 ・愛知県市史整備市町村協議会 ・歴史民族資料の収集及び資料室 ・歴史民族資料調査研究会 ・史跡ガイド		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
市史販売数		事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	20	20	20	20	20	20
		実績値	10	10				
単位	冊							
		事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0				
単位								

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		5,750千円	2,862千円		
人件費	a 事業費合計	2,827千円	2,862千円	4,082千円	
	正規職員	人数	0.5人	0人	
		b 金額	2,923千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	2人	0人	
		金額	2,553千円	0千円	
人件費合計		5,476千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		5,750千円	2,862千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		84円	42円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	資料整理が主な事業となっており大施策に大きく貢献できるまでには至らない。
-----------------------------	--------------------------------------

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市内に点在する各種文化財資料について、円滑に資料整理を進める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	唐竹小学校跡施設への編纂室の移動が円滑に行われるよう、計画的に資料整理等準備を進める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 7月 25日

中施策事業名	陶芸の館管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	かつての陶芸産地であった歴史的経緯を理解し、現在も文化を継承するとともに発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・陶芸教室 ・陶芸の館の管理、運営及び支払い		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
陶芸の館利用者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	2,300	2,400	2,500	2,600	2,600	2,600
	実績値	1,891	1,741				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		3,477千円	3,063千円		
a	事業費合計	2,892千円	3,063千円	2,810千円	
	正規職員	人数	0.1人	0人	
		b金額	585千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		585千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		3,477千円	3,063千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		51円	45円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	特殊な施設であるため利用者が限られてしまう点から、大幅な増加は見込めないが安定した利用がある。施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行っていく必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	修繕箇所に優先順位をつけ、計画的に改修し、利用し易い環境を作る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設の整備等、市民に利用し易い環境作りに努め、利用者の増加を目指していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 27日

中施策事業名	市民文化育成事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	深草 広治
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住・在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	世代や分野を問わず、文化的な素養を高め、発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・文化協会等の団体育成及び指導		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市民文化講座等の 参加者数(29年度 ホール耐震工事、 30年度指定管理)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	220	1,650	1,700	1,750	1,750	1,800
	実績値	162	3,134				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		9,020千円	972千円		
人件費	a 事業費合計	3,175千円	972千円	972千円	
	正規職員	人数	1人	0人	
		b 金額	5,845千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,845千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		9,020千円	972千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		131円	14円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	市からの受託事業であり、指定管理者の裁量で実施されるため、指定管理者との事業の拡大等には事前に協議が必要。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	参加団体の増加を目指し、広報・チラシ等により積極的に広報活動を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市内の文化活動団体をより多くの市民に周知をし、参加者の増加を目指す。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		